



日野市のごみ情報誌

エコ

Vol.46

令和元年10月

発行／日野市環境共生部クリーンセンターごみゼロ推進課

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

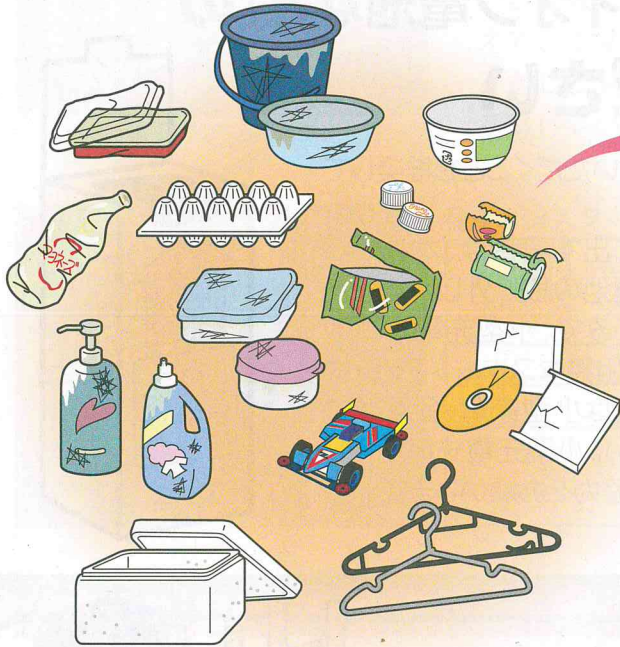
5つのRで始まるキーワード

- | | | |
|-----|------|---------|
| 1 断 | る | Refuse |
| 2 減 | 量 | Reduce |
| 3 何 | 度も使う | Reuse |
| 4 返 | す | Return |
| 5 分 | 別徹底 | Recycle |

〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

「エコー」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。

分別による資源化にご協力を
皆さまのひと手間が
地球環境の保全につながります！



新たな指定収集袋を
令和元年12月に販売予定

イラスト出典：経済産業省ウェブサイト

令和2年1月から
プラスチック類ごみ分別
収集がスタートします

プラスチック類ごみ分別ガイドを配布

プラスチック類ごみ分別ガイドを各家庭に10月中に戸別配布します。また、市役所1階ごみ相談窓口・市民相談窓口、七生支所、豊田駅連絡所でも配布しています。市HPからもご覧になれます。

今号の主な内容

- 環境に優しいスーパーを応援しよう! 2・3面
- 第二次ごみ改革 ごみの減量・資源化率の向上にご協力を! 4・5面
- 容器包装お返し大作戦にご協力を! 6・7面
- 産業まつりごみゼロイベント 8面

この情報誌「エコー」は、環境 (Environment) と協力 (Cooperation) の頭文字が皆さまのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

環境に優しいスーパーを応援しよう!

容器包装お返し協力店特集

イオンスタイル多摩平の森の取り組み

エコ前号 (Vol.45・5月15日発行) で、容器包装お返し協力店として市内で店頭回収を行っているスーパーをご紹介しました。今号では、容器包装お返し協力店特集とし

て、イオンスタイル多摩平の森の環境への取り組みなどをご紹介します。環境に優しいスーパーをぜひ応援していきましょう。

イオンスタイル多摩平の森～会社全体で資源を有効活用



▲雑誌・雑紙の回収スタンド

同店での店頭回収品目は、下表の通りです。ポイントのたまる雑誌・雑紙のリサイクル回収も行っていて、回収された雑誌・雑紙は段ボールやコピー用紙にリサイクルされ、コピー用紙などは店内で販売もしています。

レジ袋も有料化されていて、マイバッグの持参率は80%を超えています。レジ袋を必要とする方には、バイオマス素材を配合したレジ袋を販売し、その販売収益を環境保全活動団体などに寄付しています。



●イオンスタイル多摩平の森店頭回収品目

ペットボトル	ペットボトルキャップ	発泡トレイなど				
		白色	白以外	納豆容器	カップ麺容器	透明トレイ
○	○	○	×	×	×	○
缶		牛乳パック類				
アルミ	スチール	牛乳パック	内側アルミ			
○	×	○	×			

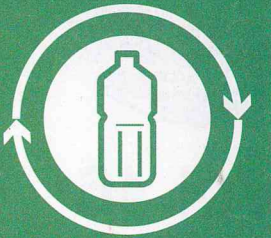
信頼され、安心して買い物ができるお店へ

環境保全活動の一環として、毎月1回、ボランティアで店舗周辺の清掃活動(クリーン活動)を行うほか、地域で活動するボランティア団体を応援するキャンペーンを実施。「環境に関する取り組みや地域の皆さまと共存することで、信頼され、安心して買い物ができるお店を目指しています。毎月20日・30日のお客様感謝デーなど、さまざまな企画を行っていますので、皆さまのお越しをお待ちしています」と店長の児島さんがお話しくださいました。

市では、ペットボトルやトレイ、牛乳パックなどの容器包装を買ったお店に返していただき、将来的にごみになるものを家庭に持ち込まないことで、ごみの発生回避を図る取り組み「容器包装お返し大作戦～容器包装 断る・返すでごみ減量」を進めています。

今後も容器包装お返し協力店特集としてスーパーの取り組みを紹介していきますので、容器包装の削減を目指し、環境に優しいスーパーを応援していきましょう。

スーパーいなげやから、ペットボトル募金の収益金が小学校に還元されました



スーパーいなげやは、市民の皆さまが持ち込んだペットボトルの収益金を還元するため、小学校2校(七小、潤徳小)に環境学習教材を贈呈しました。

また、スーパーいなげやでは、市と日野市ごみ減量推進市民会議の要請に応じて、市内3店舗でレジ袋の無料配布を中止しています。

引き続き、お買い物にはマイバッグを持参し、環境に優しいお店を応援していきましょう。



▲スーパーいなげや万願寺駅前店店長の吉田さんから環境教材を贈呈

小型充電式電池(リチウムイオン電池など)のリサイクルにご協力ください

携帯電話、デジタルカメラ、モバイルバッテリー、ノート型パソコン、コードレス掃除機、電動自転車などに使われている小型充電式電池は、水に濡れたり、収集・運搬の際に圧力がかかり発火する恐れがあります。

そのため市では、リチウムイオン電池を含む小型充電式電池は、お近くにある電気店やホームセンターなどにある一般社団法人JBRCのリサイクル

BOXに返していただくことを推奨しています。

市の収集に出す場合は、本体から小型充電式電池の取り外しができる場合は有害ごみで、小型充電式電池の取り外しが困難なスマートフォンや小型ゲーム機は小型家電・金属類でお出してください。小型充電式電池のリサイクルにご協力をお願いします。



平成30年度ごみ処理費用

平成30年度のごみ処理費用は以下の通りです。



項目	費用	項目	費用
発生抑制費(千円)	86,011	総ごみ量(トン)	41,744
収集運搬費(千円)	971,582	1トン当たり経費(円)	92,063
中間処理費(千円)	2,062,630	1人当たり経費(円)	20,736
最終処分費(千円)	722,857		
ごみ処理経費合計(千円)	3,843,080		

※1トン当たりの経費は、ごみ処理経費合計÷総ごみ量で算出
※1人当たりの経費は、ごみ処理経費合計÷平成30年10月1日現在の日野市人口で算出

SDGs未来都市・日野 第二次ごみ改革

ごみの減量・資源化率の向上にご協力を!

市では、第二次ごみ改革としてごみ減量および資源化率の向上を目指し、プラスチック類ごみ分別・収集などの取り組みを行います。第二次ごみ改革によりSDGsの目標12(つくる責任

つくる責任)・14(海の豊かさを守ろう)に取り組み、持続可能な社会を目指して次の、またその先の世代へ豊かな地球環境を引き継いでいくため、皆さまのご協力をお願いします。

地球温暖化、海洋プラスチック汚染が世界的な環境問題となっています。この問題の対策として・・・

世界では

地球温暖化問題 地球温暖化対策協定(パリ協定)
海洋プラスチックごみ問題 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン宣言 ※SDGsでも取り組み

日本では

令和2年4月からレジ袋有料化を義務づける方針

日野市では

日野市が抱える課題

ごみ減量の機運の低下⇒第一次ごみ改革から20年経過

- ・1人1日当たりのごみ量の減り方が少なくなっている
- ・ごみ減量の意識が薄れてきている
- ・このままでは増に転じる恐れ

資源化率の低迷⇒プラスチック類ごみ資源化の遅れ

- ・プラスチック類ごみの激増(不燃ごみの約8割を占める)
- この課題を解決していくことは、地球温暖化、海洋プラスチック汚染などの世界的環境問題への対策にもつながります。

私たち市民は何をすればいいの?

ごみ減量

1人1日当たり**72g**(レタス2枚分)のごみ減量にご協力を

平成30年度の1人1日当たりのごみ量…617g(多摩地区第4位)

1人1日当たりレタス2枚分のごみを減量すると、多摩地区第1位の少なさになるよ!

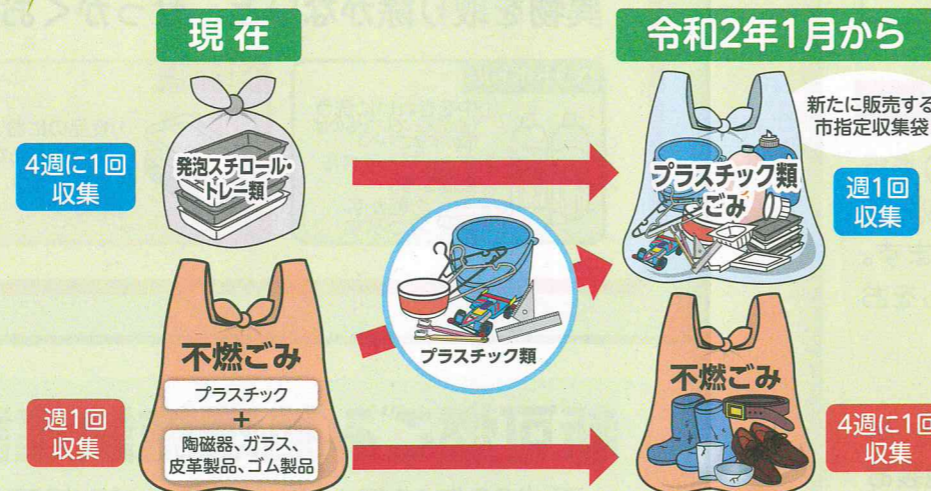


資源化率の向上

令和2年1月からスタートするプラスチック類ごみの分別・収集にご協力を

分別の徹底にご協力を

- ①ごみと資源物の分別徹底(資源化できるものは、可燃、不燃で出さない)
- ②プラスチック類ごみの分別・収集開始(令和2年1月から)



※プラスチック類ごみ指定収集袋は令和元年12月から販売予定
※当面は、不燃ごみ指定収集袋でプラスチック類ごみを出すことができます

できることから始めてみてください!

- ①容器包装お返し大作戦(ペットボトル、トレーなどを買ったお店の回収BOXへ)
- ②買い物時はマイバッグ持参(レジ袋は断る)
- ③生ごみ減量(3切り運動、生ごみたい肥化)

ごみ減量、資源化率の向上は、市民の皆さまのご協力なしには実現できません。ご理解・ご協力をお願いします。

SDGs(Sustainable Development Goals:エス・ディー・ジーズ)とは、持続可能な社会を構築するために2030年までに実現すべき17の世界共通の目標が定められたものです。

内閣府では、SDGsの目標達成に向け先進的な取り組みを行う自治体を「SDGs未来都市」として選定しており、今年度、東京都内で初めてこの未来都市に日野市が選定されました。これにより、第二次ごみ改革の「ごみの減量」、「資源化率の向上」を諸力融合により進めていきます。



第二次ごみ改革説明会を開催しました

第二次ごみ改革(プラスチック類ごみ分別・収集)中学校区説明会を7月27日～8月11日に開催しました。

主な質疑応答は以下の通りです。なお、他の質疑応答や配布資料は市HPにも掲載しています。

Q 汚れは、どの程度きれいにすればいいのか

A 残りカスなどが付いていない程度であれば、油分は残っていても大丈夫です。

Q 発泡スチロール、トレーはなぜ有料になるのか

A 発泡スチロール、トレーはプラスチック製容器包装であり、お菓子の袋などのプラスチック製容器包装と一緒に容器包装リサイクル協会を通じてリサイクルを行いますので、一緒に収集し、有料化するものです。市民の皆さまにはご負担をおかけしますが、トレーはお返し大作戦へ、発泡スチロールも運送業者に持って帰ってもらうなど、ご理解・ご協力をお願いします。

Q トレーはスーパーなどで引き続き回収してくれるのか

A 引き続きの回収を依頼していくとともに、未実施店へは協力をお願いしていきます。

Q 生産者、販売店の負担はどうなっているのか

A 容器包装リサイクル法では、市民は分別排出、市は収集・運搬・保管、生産者はリサイクル費用を負担するよう決められていますが、収集・運搬・保管費用についても生産者が負担していくよう、市では東京都を通じて国に要望しています。

Q 当面、現在の不燃袋でプラスチック類ごみを出せるということだが、当面とはいつまでか。

A 市民の皆さまが現在の不燃袋を使い切ることのできる期間と考えています。プラスチック類ごみ分別・収集実施後に状況を見ながら決めていきます。

Q プラスチック製容器包装とプラスチック製品はリサイクル方法が違うため、家庭から出す時に分けてもらった方が良いのではないか

A プラスチック製容器包装の中にはプラマークがついていないものもあります。また、クリーニングから帰ってくる時にかぶせてあるビニールはプラスチック製容器包装ではありません。このように家庭では分別に迷うものが多いため、一緒に出していただくこととしました。

容器包装お返し大作戦にご協力を!

市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

目指せ!ゼロ

知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20人で構成されています。



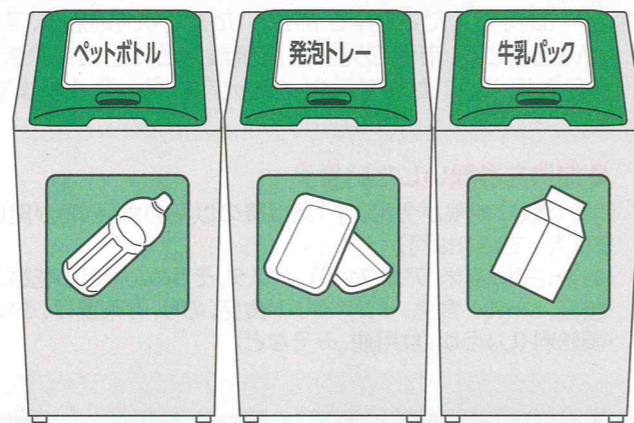
Part 38

容器包装(ペットボトル、トレー類、紙パック、飲料缶など)は、買ったお店の回収ボックスに返しましょう!

容器包装をお店に返す理由

本来、メーカーや販売者は、商品だけではなく商品の使用後にごみとなる容器包装の回収やリサイクルにも責任を負っています。

市内各スーパーの店頭回収品目は、お店によって若干異なります。ごみ・資源分別カレンダーでも紹介していますが、詳細は各店舗にお問い合わせください。



リサイクル費用



市が行っている容器包装などの資源物の収集や処理には、年間約5億円の費用がかかっています。

これらの費用は、市民が税金で負担しています。容器包装をお店に返すことによって、その費用を減らすことができます。

売却できる資源物は限られており、売却できても収集・処理にその何倍もの費用がかかっています。

新聞紙も新聞販売店の回収へ!

買い物は行きも帰りもマイバッグ

買い物の際は、お店に返す容器包装をマイバッグに入れて行き、買った商品をマイバッグに入れて帰りましょう。



いちいちお店に持って行くのは面倒ではない?

いいえ。買い物のついでに持って行けばいいから平気だよ!



お店に返す際には、お返しのルールを守りましょう

各店舗の店頭回収ボックスの注意事項もご確認ください。

キャップやラベル、飲み残し、汚れなどの異物を取り除くことが鉄則です。異物を取り除かないと、せっかくお店に返しても資源として利用できません。

ペットボトル

- ①中をきれいに洗う(油が入っていたものは市の不燃ごみへ)
- ②キャップとラベルをはずす
- ③乾かす
- ④つぶす

トレー類

- ①食品のにおいや色が移らないうちに洗う
- ②乾かす

紙パック類

- ①中をきれいに洗う
- ②切り開く
- ③乾かす

飲料缶

- ①中をきれいに洗う
- ②乾かす
- ③異物を入れない
- ④つぶす

プラスチック類資源化施設建設工事の進捗状況

市では、新可燃ごみ処理施設稼働(令和2年4月予定)に合わせて、さらなるごみの減量と資源化の推進を図るため、プラスチック類資源化施設を建設中です。完成後はプラスチック類の手選別作業なども見学できる施設となります。

☎施設課 (☎581-0444)



令和元年9月撮影

新可燃ごみ処理施設建設工事の進捗状況

平成29年11月から、新可燃ごみ処理施設の建設工事が始まりました。工事状況などは浅川清流環境組合ニュースおよび組合HPで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

☎浅川清流環境組合 (☎589-0555)

産業まつりごみゼロイベント

受付日時 11月9日(土)10:00~14:00、10日(日)9:30~14:00

会場 市民の森ふれあいホール内ごみゼロ推進課ブース

正しく分別できるかな!? ごみ分別釣りゲーム

全問正解でマイバッグをプレゼント!マイバッグに絵を描いて自分だけのオンリーワンマイバッグにしてみませんか。



食品ロス対策 フードドライブ

まだ食べられる食品で、ご家庭で余っている食べ物などがありましたら、会場へお持ちください。ご提供いただいた食品は、すべてフードバンクTAMAを通じて、市内の児童養護施設などに配布されます。

食品を提供された方にはマイバッグをプレゼントします(各日先着30人)。



●提供をお願いしたい食品

消費(賞味)期限が令和2年1月以降の以下の食品(箱が開いていても袋に入っていれば可)

- ・お米(白米、玄米、アルファ米)、パスタ、そうめんなどの乾麺、お菓子類
- ・缶詰、レトルト食品、インスタント食品、のり、お茶漬け、ふりかけ
- ・調味料(しょうゆ、食用油、みそなど)

●受け取ることができない食品

- ・消費(賞味)期限が令和元年12月以前のもの
- ・冷凍・冷蔵食品、野菜、果物
- ・開封されているもの
- ・消費(賞味)期限の記載がないもの

ダンボールコンポストPRコーナー

生ごみを家庭から出さない取り組みの一つとして、多くの方が利用しています。段ボールの中に竹パウダーなどの基材を投入し、水分を含ませた後は、毎日生ごみを投入してかき混ぜるだけで、生ごみが分解されてなくなります。ダンボールコンポストの使い方やワンポイントアドバイスを行いますので、ぜひお立ち寄りください。



日野市・国分寺市・小金井市
共同企画

水銀使用製品回収イベント

可燃ごみの共同処理を行う日野市・国分寺市・小金井市では、水銀使用製品を回収する共同イベントを実施します。水銀使用製品は、可燃ごみや不燃ごみに混入すると、焼却や破碎処理の工程の中で大気中に放出されてしまう恐れがあり、非常に危険です。ごみの適正処理やさらなる減量に向けた取り組みとしてイベント会場での回収を実施します。ぜひこの機会に、国分寺市・小金井市にも足を運んでみてください。

●3市イベント(右表参照)で回収する水銀使用製品

水銀が含まれる体温計、温度計、血圧計および水銀の入った容器
※液体が赤色や青色の温度計や蛍光灯、ボタン電池などを除く。

事業者および事業で使用していたものも回収できません

●特典

上記回収品目を持参した方に、マイバッグなどのグッズをお配りします。

各日先着
20人



●3市イベント

日程	会場	お楽しみどころ
小金井市 なかよし市民まつり 10月19日(土)・ 20日(日)	都立小金井公園(小金井市)	リサイクルバザーや模擬店、クラシックカーの展示など、お年寄りから子どもまで楽しめるイベントです。
日野市 産業まつり 11月9日(土)・10日(日)	市民の森ふれあいホールなど	日野市の農業や市内事業者の活動紹介、農産物・特産品の販売、飲食品の販売など、ご家族で楽しめるイベントです。
国分寺市 環境まつり 12月1日(日)	国分寺市清掃センター(国分寺市)	リサイクル家具販売、施設見学、マイ箸作り、もったいない食器市など、子どもから大人まで楽しめるイベントです。